

議会だよりは市民の皆さんと議会をつなぐ「かけはし」です
ぜひ御一読を



かつなりくん

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

刈谷スマートインターチェンジ開通 【刈谷ハイウェイオアシス】



令和4年3月26日に開通
◆交通渋滞の緩和が期待されます
◆物流コストの削減が期待されます

主な記事	ページ
4年度予算	2～3
主な議案	4
委員会の動き	4～5
議決結果	5
質問質疑	6～8

3月定例会のあらまし

この定例会は2月17日に招集され、会期35日間で3月23日に閉会しました。今回は議案など37件が提出されました。

◆2月17日 本会議
主な議案は令和4年度刈谷市一般会計予算などです。

◆7日 予算審査特別委員会
予算議案は分科会を設置して審査することとしました。

◆9日～11日・14日 委員会、分科会
議案を審査し、委員会や分科会での採決を行いました。

◆22日 予算審査特別委員会
分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決を行いました。

◆23日 本会議（採決）
一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案は全て原案のとおり可決しました。

◆7日 本会議（追加工程など）
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正についてなど4議案が追加工程された後、議員提出議案第1号ロシアによるウクライナへの侵攻に関する決議を可決しました。

次に、令和3年度刈谷市一般会計補正予算（第11号）が追加工程され、原案のとおり可決しました。
3月定例会での傍聴者は延べ45人です。

* 6月定例会の開催予定 *

- 5月27日（金）議会運営委員会（運営を協議）
- 6月8日（水）本会議（開会、一般質問など）
- 9日（木）本会議（一般質問など）
- 10日（金）本会議（一般質問、議案説明など）
予算審査特別委員会
- 14日（火）企画総務委員会
- 15日（水）福祉産業委員会
- 16日（木）建設委員会
- 17日（金）市民文教委員会
- 23日（木）予算審査特別委員会
議会運営委員会（運営を協議）
- 24日（金）本会議（委員長報告・採決など）

各会議は10時から17時まで（進行状況などにより、変更する場合があります）。傍聴の際は、当日次の受付へ。
本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付

- 託児を希望される方へ（生後6か月以上の未就学児、先着順）
臨時保育室「カンガールーム」を御利用いただけます。
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局まで御連絡ください。
- 手話通訳・要約筆記を希望される方へ
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局まで御連絡ください。
- 一般質問KATCH放送（地上デジタル11チャンネル）
6月14日（火）、16日（木）、20日（月）でいずれも10時から。
詳しくはチャンネルガイドを御覧ください。

*今定例会の放送から、地上デジタル11chのサブチャンネル（112ch）に放送チャンネルを移行します。詳しくはキャッチネットワークまでお問合せください。電話（0120-2-39391）受付9時～19時

令和4年度予算関係

本会議での質疑

質問質疑では、市政の方針などを問いました。本会議での質問質疑については、6、8ページの「質問質疑」を御覧ください。

委員会・分科会・本会議

質問質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査しました。

3月22日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数によりいずれも原案のとおり可決しました。

23日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論を行いました。

討論では、生活困窮者等に対する支援が足りていないこと、おがきえ保育園及びあおば保育園の指定管理をやめて直営にすべきであると考える立場であること、国民健康保険税の引下げを求める立場であること、後期高齢者医療制度を廃止し、元の老人保健制度に戻すべきと考える立場であること、介護保険制度は、保険あつて介護なしの制度となっており、抜本的な制度設計の見直しを求める立場であることなどにより反対との意見がありました。採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

ICT活用推進事業
問 市民公開型GISとはどのようなものか。

答 今回導入する市民公開型GISは、都市計画図や認定路線道路図、上下水道に関する地図、遺跡地図、地震・水害等各种ハザードマップなど約20種類を予定している。既にホームページで個別に公開しているものもあるが、市民公開型GISの導入に伴い、各種地図情報をなるべく集約するとともに、スマホやタブレットでも閲覧しやすい機能を取り入れるなど利便性の向上を図りたい。

問 ICTの活用はSDGsにもつながると考えるがどうか。

答 持続可能な社会を実現するために、地球温暖化対策や省資源化、医療、防災など、様々な社会・環境課題に対処していく必要があるが、ICTを活用し、最適化、効率化、自動化を図ることで、こうした課題の解決につながるものと考えている。

高齢者安全運転支援装置設置費補助事業
問 令和3年度で事業を終了する予定であると認識していたが、令和4年度も補助を継続した理由は何か。

答 令和4年5月に導入されるサポートカー限定免許などの新制度について普及促進に取り組んでいくと考えていたが、その後も高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が社会問題となっており、新制度の普及促進と合わせて、高齢者の踏み間違い事故の未然防止を図るため、1年間事業を延長することにした。

■福祉産業
問 令和4年度はどのようなことを行う予定か。

答 刈谷中部地区では子供と高齢者が昔の遊び等で触れ合うふれあい祭り、高津波地区では既存の地区行事に多世代交流の要素を取り入れた行事、井ヶ谷地区では農作物の種まきから収穫までの一連の農業体験を交流事業として検討中であると聞いている。また、事業の推進に当たっては各地区と世代間における課題の共有を図り、多世代交流推進協議会の協力を得ながら実施していく予定である。

■建設

道路管理事業
問 事業目的とシステムの概要は。

答 道路の安全性の向上及び維持管理業務の効率化を図ることを目的として道路維持管理支援システムを導入するものである。本システムの概要については、専用の車載器及びカメラを取り付けた車両が市内を走行することで、道路の陥没やひび割れ、わだちといった路面異常を自動的に発見、分析し、その場所の正確な位置情報と状況写真をクラウド上の地図に表示させることができる。情報はパソコン等で確認できるため、不具合の場所や状況を一目で確認することができ、修繕範囲や優先順位の判断材料となる。

都市拠点活用推進事業
問 事業の考え方及び効果はどのようなか。

答 本市の玄関口である刈谷駅周辺において、「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」を目指し、道路や広場などの公共空間を活用したイルミネーションやマルシェなどの開催により、商店街を含めた刈谷駅周辺のにぎわいの創出、来訪者の増加を図るための事業である。

（仮称）逢妻川河川敷運動広場整備事業

問 スポーツ施設の面積と現時点での状況はどのようなか。

答 （仮称）逢妻川河川敷運動広場は、約3.8ヘクタールの敷地にサッカー場を一面と各種屋外スポーツのできる多目的広場を一面のほか、駐車場の整備を予定しており、それぞれ具体的な面積や用途などの詳細については、来年度の実施設計の中で検討していく。

地域学校協働活動推進事業
問 地域と学校が連携、協働して、社会全体で教育を行う体制の構築を担っていかねばならないが、地域活動と一体的に推進する考えはあるか。

答 地域学校協働活動の取組は、地域に支えられた学校づくりだけでなく、学校を中心とした地域づくりも目的の一つとなっており、子供たちが、地域に支えられる中で成長し、やがて大人になったときに地域の一員として支える役割を担うなど、将来に向けて、持続的な地域づくりにつながる取組として、推進していきたいと考えている。

■市民文教

多胎家庭等支援事業
問 多胎家庭等支援事業の拡充内容は。

答 令和3年度から、乳幼児健診の際に、市が手配したサポーターを派遣して、子の見守りなどを実施しているが、来年度は、これまでの4か月健診、1歳6か月健診に加え、3歳児健診まで拡充する。

問 周知方法は。

答 健診の通知に健診サポーターの御案内を同封するとともに、市のホームページ、市民だより等に掲載する。



市民公開型GIS



多世代交流イベントを通じて楽しくふれあいを



刈谷駅周辺のにぎわいを創出する「かりやストリートイルミネーション」(令和3年度開催)

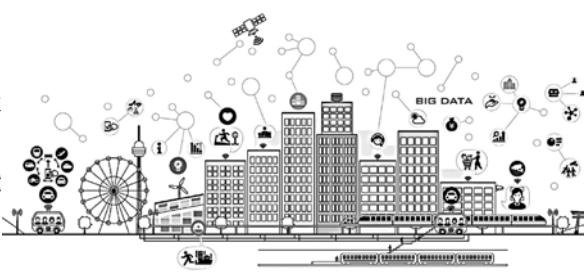


PTA・地域・学校が協働して行った運動場での避難所体験(双葉小学校)

令和4年度予算に見る主要事業

新技術を活用したスマートシティを推進 (スマートシティ推進事業)

民間企業との協働のもと、ICT等の新技術や各種データを活用したスマートシティを推進することにより、社会課題の解決を図り、持続可能なまちづくりを目指します。



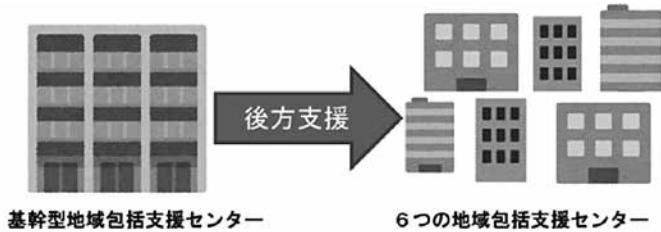
まちづくりの指針となる第8次総合計画を策定 (第8次刈谷市総合計画策定事業)

市の現状や特性を踏まえ、新型コロナウイルス感染症流行などの社会情勢、市民ニーズの変化を反映し、新たなまちづくりの指針を定めます。

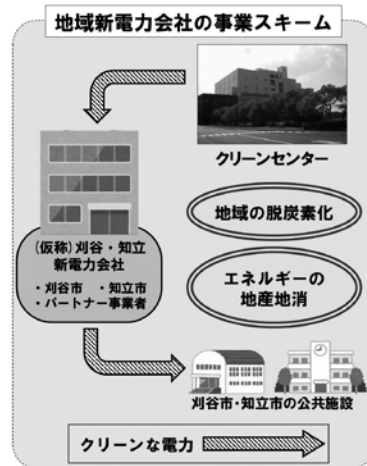


基幹型地域包括支援センターを整備 (基幹型地域包括支援センター整備事業)

基幹型地域包括支援センターを整備することで、地域包括支援センターの運営を適切かつ効率的に実施できる環境を構築し、高齢者福祉の充実を図ります。令和4年度に社会福祉協議会内に新設される刈谷市基幹型地域包括支援センターが、令和5年度から市役所で運営を開始するに当たり庁舎の改修を行います。



地域新電力会社設立のため資本金を出資 (地域新電力会社出資事業)



刈谷知立環境組合クリーンセンターのごみ焼却熱によって発電されたクリーンな電力等を公共施設へ供給する地域新電力会社(刈谷市、知立市及びパートナー事業者の共同出資)を設立することで、地域の脱炭素化、エネルギーの地産地消及び地域経済の活性化を図り、SDGsへの貢献を目指します。

おくやみ窓口を開設します (おくやみ窓口開設事業)

故人に関する市役所での手続を各課を回らずに1箇所ですべてできる「おくやみ窓口」を開設します。事前に来庁予約をしていただき、必要な手続の確認や準備をあらかじめ行うことで、遺族等が来庁した際に、効率的かつ円滑な手続をサポートし、来庁者の負担軽減及びサービスの向上を図ります。

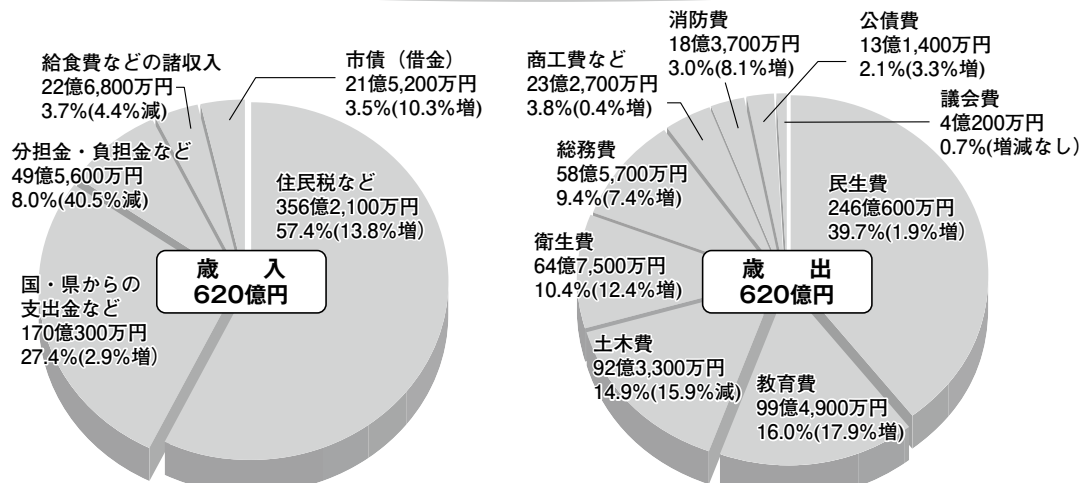


第4次都市計画 マスタープランを策定 (第4次都市計画マスタープラン策定事業)

総合計画や愛知県の都市計画区域マスタープランの改定、人口動態などの社会情勢の変化に対応するため、市の都市計画に関する基本的な方針である第4次都市計画マスタープランを策定します。



一般会計の内訳 ()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特別交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
 〈分担金・負担金などの内訳〉分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈商工費などの内訳〉労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注)それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

4年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	962億4,700万円	15億8,700万円	1.7%
一般会計	620億円	15億3,000万円	2.5%
特別会計	243億7,400万円	9億8,500万円	4.2%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	8億5,500万円	▲3,800万円	▲4.3%
刈谷野田北部土地区画整理事業	2億8,800万円	1億4,500万円	102.4%
国民健康保険	116億5,600万円	3億2,400万円	2.9%
後期高齢者医療	21億8,100万円	1億円	4.8%
介護保険	93億9,400万円	4億5,400万円	5.1%
企業会計	98億7,300万円	▲9億2,800万円	▲8.6%
水道事業	42億9,400万円	▲8億500万円	▲15.8%
下水道事業	55億7,900万円	▲1億2,300万円	▲2.2%

※百万円単位で四捨五入しています
 ※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください

主な議案

3月定例会 (要約して掲載しています)

単行議案

●物品の買入れについて

小中学校において使用するプロジェクト471台、ディスプレイ型電子黒板154台を買入れます。

●問 今回導入される電子黒板の機能はどうか。

●答 授業でよく使う基本機能は、付属のボタンから簡単に操作可能であり、機器操作が苦手な先生も安心して利用ができる。また、書画カメラとの連動や教材データの提示もワンタッチで切替え可能なため、児童生徒が発表する際にも、簡単に操作ができる。そのほか、授業内容に合わせた黒板表示機能が搭載されており、パソコンやタブレット端末を起動せずにすぐに利用でき、授業の幅を広げるアプリケーションも搭載されているなど、授業での活用場面が広がる機能が多いものとなっている。

●問 電子黒板の導入によって先生の負担は軽減できるのか。

●答 これまで黒板に手書きをしていた図形や教科書の本文などを瞬時に投影することができ、デジタル教科書と連携して活用することで、教科書に掲載されている図などの投影も容易になり、授業準備にかかる時間を短縮できる。

●問 電子黒板及びプロジェクトの導入時期は。

●答 電子黒板は6月末に設置を完了し、プロジェクトは、夏休み期間中に設置を完了する予定である。

条例議案

●刈谷市産業立地促進基金条例の制定について

市内における企業の投資の促進を図るための基金の設置に伴い条例を制定します。

●問 そもそも基金を積み立てる必要があるのか。

●答 刈谷依佐美地区の先行開発区域の土地の引渡しは、令和4年度に始まること、また、引き続き2期開発区域の整備を進めることで、今後、産業立地促進補助金の交付額が大幅に増加していくことが見込まれることから、各年度の財政負担を平準化するため、基金を設置することで、必要な財源を確保し、補助金の円滑な交付を行うためである。

●問 基金の目標額は。

●答 積立額については、各年度に必要な産業立地促進補助金の4分の3程度を基金で賄えるよう検討しており、現時点では依佐美地区先行開発区域分を含め、令和4年度から令和6年度までに約9億円の補助額を見込んでいる。

●刈谷市営住宅管理条例及び刈谷市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

市長が入居者の共通の利益を図るために必要と認める費用を共益費として入居者から徴収することができるとします。

●問 条例改正の背景と目的は。

●答 これまでの条例では、共益費は入居者が負担することのみが定められていたため、市が共益費を徴収することはできず、自治会活動の一環として、自治会費と共に徴収することで効率的に徴収が行われてきた。しかし、入居者の高齢化等により、今後、共益費の支払いが滞る可能性もあることから、市が徴収を行うことができる仕組みを構築しておくものである。

●問 今後は全て市が徴収するのか。またどのように徴収するのか。

●答 今後、全ての住宅の共益費を市が徴収するというのではなく、個々の住宅において、共益費を市において徴収して欲しいという入居者の合意を得て、市へ申請をいただいた住宅のみ、市が代わりに徴収するものである。なお、徴収方法については、家賃と同様の方法で徴収することになる。

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査しました。

3月22日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長から報告を受け、23日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。また、本会議最終日に子育て世帯への臨時特別給付金支給事業等の繰越しなどに関する令和3年度一般会計補正予算議案(第11号)が追加上程され、原案のとおり可決しました。

●補正する額(一般会計)

24億3,920万5千円

●補正後の予算(一般会計)

698億9,505万5千円

●補正後の予算総額(全会計)

1,046億2,718万6千円

【主な事業】

●新型コロナウイルス感染症対策関連事業

●問 総額と財源内訳はどうなっているか。

●答 令和3年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策関連事業については、令和2年度からの繰越事業のほか、当初予算及び各補正予算で計上したものが約76億6千万円、財源内訳は、特定財源が約58億2千万円、一般財源が約18億4千万円である。

●問 コロナ禍により予算執行ができなかった事業はあるか。

●答 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止、または規模を縮小し、予算未執行となった事業は、かりやヘルスアップ大学事業をはじめ16事業で、事業費は約1億3千万円、うち一般財源は約1億2千万円となっ

ており、令和3年度の各補正予算において事業費を減額している。

●わが家の地震対策事業

●問 申込件数が当初予定件数を見込めなくなった理由は何か。

●答 コロナウイルスの関係で、耐震啓発活動の場であったわんさか祭りなどのイベントが2年連続で中止になったこと、また、耐震啓発ローラー作戦が令和2年度はゼロ回、3年度は12月に元刈谷地区で1回しかできなかったことなど、以前のような積極的な啓発活動が実施できなかったことが大きな要因とされている。来年度は、密にならない新しい生活様式を踏まえた啓発活動を検討し、耐震化の促進に努めていきたいと考えている。

●問 申請件数が当初予定件数を見込めなくなった理由は何か。

●答 コロナウイルスの関係で、耐震啓発活動の場であったわんさか祭りなどのイベントが2年連続で中止になったこと、また、耐震啓発ローラー作戦が令和2年度はゼロ回、3年度は12月に元刈谷地区で1回しかできなかったことなど、以前のような積極的な啓発活動が実施できなかったことが大きな要因とされている。来年度は、密にならない新しい生活様式を踏まえた啓発活動を検討し、耐震化の促進に努めていきたいと考えている。

●問 申請件数が当初予定件数を見込めなくなった理由は何か。

●答 コロナウイルスの関係で、耐震啓発活動の場であったわんさか祭りなどのイベントが2年連続で中止になったこと、また、耐震啓発ローラー作戦が令和2年度はゼロ回、3年度は12月に元刈谷地区で1回しかできなかったことなど、以前のような積極的な啓発活動が実施できなかったことが大きな要因とされている。来年度は、密にならない新しい生活様式を踏まえた啓発活動を検討し、耐震化の促進に努めていきたいと考えている。



安全確認を行い、危険回避を

●市民の方等から貴重な御寄附を頂きました。補正予算に計上し活用させていただきます。

●総務管理事業費寄附金

9万円

●心身障害者福祉事業費寄附金

16万4千円

●高齢者福祉施設事業費寄附金

7万9千円

●公園事業費寄附金

35万1千円

●学校管理事業費寄附金

20万円

委員会の動き

委員会では、議案の審査のほか、主に次のことについて、質問などがありました。

企画総務委員会

刈谷市DX推進計画

●問 DXの推進に外部有識者の活用等の考えはあるか。

●答 計画策定に当たり、総務省が行う地域情報化アドバイザー派遣制度を活用し、アドバイザーを頂いた。今後もこの制度を活用したいと考えている。

●問 近隣市と関係性を持つ必要があるのではないか。

●答 令和2年度に、A-I-O C R等を県下の自治体で共同調達したように、引き続き近隣市等と連携してDX推進に取り組みたいと考えている。

●問 その他「第11次刈谷市交通安全計画」「行政のデジタル化」について「いかり」などがありました。

●答 「いかり」は、交通安全計画のデジタル化について、デジタル化の推進など、再生エネルギーの活用や緑化の推進などの取組は取り入れている。

●問 設備などの詳細はこれからの実施設計の中で検討していくが、ソーラーパネルの設置やLED照明器具の導入などを考えている。また、利用者の作業としての植物栽培やグリーンカーテンなどのソフト面での取組により、節電効果高められるよう現在検討している。

●問 その他「地域応援商品券」「スマート農業」などがありました。

●答 「地域応援商品券」は、地域内での消費を促進し、地域経済を活性化させることを目的として、令和3年度から導入している。また、利用者の作業としての植物栽培やグリーンカーテンなどのソフト面での取組により、節電効果高められるよう現在検討している。

●問 「スマート農業」などがありました。

●答 「スマート農業」は、省力化や生産性の向上を目的として、令和3年度から導入している。また、利用者の作業としての植物栽培やグリーンカーテンなどのソフト面での取組により、節電効果高められるよう現在検討している。

●問 「スマート農業」などがありました。

●答 「スマート農業」は、省力化や生産性の向上を目的として、令和3年度から導入している。また、利用者の作業としての植物栽培やグリーンカーテンなどのソフト面での取組により、節電効果高められるよう現在検討している。

●問 「スマート農業」などがありました。

●答 「スマート農業」は、省力化や生産性の向上を目的として、令和3年度から導入している。また、利用者の作業としての植物栽培やグリーンカーテンなどのソフト面での取組により、節電効果高められるよう現在検討している。

●問 「スマート農業」などがありました。

●答 「スマート農業」は、省力化や生産性の向上を目的として、令和3年度から導入している。また、利用者の作業としての植物栽培やグリーンカーテンなどのソフト面での取組により、節電効果高められるよう現在検討している。



整備が完了し、引渡しが始まる刈谷依佐美地区の先行開発区域



入居者の希望により、市において共益費を徴収することが可能に

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

Table with 2 columns: 議決結果 (議決/了承/了承/同意/了承/可決) and 議案内容 (議案内容). Includes items like 損害賠償の額を定める専決処分について, 刈谷市個人情報保護条例の一部改正について, etc.

3月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対)

Large table with columns for 議案名及び議決結果 and 議員名 (加藤幹樹, 揚張慎一, etc.). Rows include 刈谷市個人情報保護条例の一部改正について, 刈谷市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について, etc.

建設委員会

魅力あふれる公園づくり構想策定に向けた取組
【問】市民公園づくり会議の一般公募の参加人数や検討する公園は。

【答】9名の方に参加いただいでおり、検討する公園は、応募の際に希望した公園を優先し、洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園でそれぞれ1名と亀城公園、フローラルガーデンよさみでそれぞれ3名である。

【問】参加者の構成は。

【答】中学生や大学生、自治会活動の参加者など幅広い世代の方々に加え、各種団体の方にも参加いただいている。

その他「刈谷市水道事業ビジョン及び刈谷市水道事業経営戦略」がありました。

市民文教委員会

第3次刈谷市男女共同参画プラン
【問】これまでの課題と第3次プランでの取組は。

【答】第2次プランでは、進捗管理の対象としている事業数が多かったため、第3次プランでは同じ目的の取組や類似の取組等を整理・統合し、さらに進捗状況を把握しやすくした。

【問】プランの必要性は。

【答】市民意識調査では徐々に固定的な役割分担意識が薄らいでいるが、各分野における実態には変化が少なく、男女共同参画の周知・啓発が必要である。引き続き、総合的かつ計画的な取組を推進する。

その他「総合運動公園」「心の教室相談」「教科書検定」などがありました。

質問質疑

市政のいまを問う

この定例会では3月2日・4日・7日の3日間、20人が登壇し、43項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目（発言順）（※）…掲載した項目

- 渡邊 妙美 議員
 - ※1 アジア競技大会について
 - 2 スポーツ施設について
 - 3 学校教育現場でのDX化推進について
- 蜂須賀 信明 議員
 - 1 刈谷市の職場環境について
 - 2 刈谷市職員の労働環境について
 - ※3 刈谷市職員の健康管理について
- 鈴木 絹男 議員
 - ※1 施政方針について
 - 2 教育行政方針について
- 新海 真規 議員
 - ※1 浸水対策について
 - 2 小中学校体育館空調設備整備事業について
- 稲垣 雅弘 議員
 - ※1 共創のまちづくりに向けて
- 山崎 高晴 議員
 - ※1 施政方針について
 - 2 教育行政方針について
- 清水 俊安 議員
 - ※1 刈谷駅を中心としたまちづくりについて
 - 2 県道小垣江安城線の整備について
- 松永 寿 議員
 - ※1 施政方針について
 - 2 教育行政方針について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 新年度予算について
- 佐原 充恭 議員
 - ※1 施政方針について
 - 2 教育行政方針について
- 葛原 祐季 議員
 - ※1 ブロック塀の安全対策について
 - 2 スマートフォン決済アプリでの市税の納付について
- 谷口 睦生 議員
 - ※1 循環型社会の形成に向けた取組について
 - 2 令和4年度当初予算について
- 城内 志津 議員
 - ※1 安全で美味しい学校給食を目指すことについて
 - 2 施政方針について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 教育行政方針について
 - 2 令和4年度予算案について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。

「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



渡邊 妙美 議員

アジア競技大会を成功させるためにインフラ整備の推進を!!
—大規模改修を行う予定はないがバリアフリー化等の改修を行う—

問 アジア競技大会はいつ頃開催されるのか。

答 2026年9月19日から10月4日まで、愛知・名古屋で開催され、日本では32年ぶり3回目の開催となる。

問 刈谷市で行われる競技や開催場所は。

答 ウィングアリーナ刈谷ではバスケットボール、ウェーブスタジアム刈谷ではサッカーの開催が予定されている。

問 競技会場の整備予定は。

答 競技会場については、競技実施に必要な基準を満たしている施設の中から選定されるた

（主な答弁者…・教育部長）



アジアの45の国と地域から選手たちが集まるアジア最大のスポーツの祭典が刈谷市に

蜂須賀 信明 議員

健康で楽しく仕事が出来るような明るい職場環境の構築を!!
—様々な事業を通じ、職員の健康管理の徹底を図っていく—

問 厚生労働省は、職員50人以上の職場では、ストレスチェック検査を全ての職員に対して実施することを義務付けているが、刈谷市の現状と考え方は。

答 メンタル不調を未然に防止することを目的として刈谷市ストレスチェック制度実施要領を策定し、検査を実施している。

問 職場におけるメンタルヘルス研修を実施しているか。

答 メンタルヘルス研修やメンタルヘルス相談室を実施し、メンタル不全に陥らないよう努めている。また管理監督者にコミュニケーション技法を学ばせる等、明るい職場環境に向けた意識醸成をさらに図っていく。

鈴木 絹男 議員

不朽の発明をされた与五郎博士の知名度を高める記念事業を!!
—功績についての講演やパネル展示を行い、情報発信に努める—

問 加藤与五郎博士生誕150年事業を行うということだが、市全体で見ると、与五郎博士の知名度は非常に低いと感じている。地元である刈谷市が大切に、励みにし、自分の生まれ育ったまちにはこれがあると子供たちが言えることが一番大事である。もっと市民に対し周知してもらいたい。記念事業の内容は。

答 博士の功績などに理解を深める講演会、子供たちが科学に親しむワークショップ、博士の生涯や功績を紹介するパネル展示などを計画している。多くの方に加藤与五郎博士を知っていただく機会にしていきたい。また、生誕150年記念事業以降も、機会を捉えて加藤博士の情報発信に努めていきたい。

新海 真規 議員

市民が浸水被害リスクへの認識を高めるよう注意喚起を!!
—事前調査や相談の際にハザードマップの活用をお願いしている—

問 日本国内において浸水想定区域に居住する世帯は増加している。区域内で住宅等を建築する際に制約や規制はあるのか。

答 工業系拡大市街地の一部地区を除き、浸水想定区域内で建築物の建築の禁止や、盛土等の浸水対策を講じなければならぬなどの法的な規制はない。

問 浸水想定区域における建築確認申請が出された場合、市は建築に対する注意喚起などができるのか。

答 建築確認申請が提出される頃には、既に施工業者との契約がされているため、その時点で

（主な答弁者…・建設部長）



水害ハザードマップで浸水想定区域の確認を

稲垣 雅弘 議員

スマートシティの取組の中でデジタルツインの構築を!!
—認識を深め、取り入れるべきものであるかを検討する—

問 刈谷市をフィールドとしてデジタルツインシティの取組を実施する提案はスマートシティ研究会で出なかったのか。

答 研究会で構成企業から、三次元モデル都市、いわゆるデジタルツインシティの更新技術に関する実証事業のアイデアをもらった。

問 スマートシティの推進に

答 は、大学等の研究機関との連携が重要と考えるが市の考えは。研究会の構成員に大学は含まれていないが、研究会の検討を始めるに当たり、モビリティ、医療データ等の専門の大学の先生に様々なアドバイスを頂き、アイデアの中に取り入れられている。今後、大学等の参画も視野に入れていきたい。

山崎 高晴 議員

小中学校の体育館に空調設備を!!
—令和4年度に小学校、5年度に中学校への整備を予定している—

問 小中学校の体育館においては、全国的に空調設備の整備がまだまだ進んでいない状況である。本市においては、授業等での使用時に熱中症の危険性があることから整備が進められると聞き、安心してほしい。災害時などでの利用及び今後の整備スケジュールはどのようか。

答 空調設備の利用について

は、体育の授業や部活動、学校行事での利用を想定しているほか、地区行事、災害時の避難所開設及びスポーツ開放など、幅広い利用を考えている。今後の整備スケジュールとしては、令和4年度に小学校体育館の設置工事、令和5年度に中学校の体育館及び武道場等の設置工事を予定している。

上田 昌哉 議員

※1 刈谷城について

山本 シモ子 議員

1 本場に困っている人を応援する施策について

2 子育ての充実について

※3 2022年度(令和4年度) 予算案について

加藤 幹樹 議員

※1 犯罪被害者支援について

2 市内の公共交通について

白土 美恵子 議員

1 女性の活躍推進について

2 困難を抱える子ども、若者、女性支援について

※3 窓口業務について

牛田 清博 議員

※1 教育行政の充実について

2 市政の充実について

3 より良い市民生活の実現について

黒川 智明 議員

※1 刈谷市スマートシティー構想について

2 公共施設の屋外照明における課題について

清水 俊安 議員

(主な答弁者：・・都市政策部長)

民間事業者、国・県と協力し、選ばれ続けるまちへの取組を!!

— 公民連携による持続可能なまちづくりに向け積極的に検討する —

問 全国でも先進的なJR刈谷駅総合改善事業は非常に重要だ。JRや国・県との補助金等の交渉など、市の並々ならぬ努力が分かる。駅の改良や歩行者デッキ等の工事を安全に進める必要があるが、市民への周知は。

答 刈谷駅改札前のまちづくり掲示板において、将来の整備イメージ等を情報提供して

松永 寿 議員

(主な答弁者：・・福祉健康部長)

高齢者の介護費を抑制するための取組は!!

— 健康づくりや介護予防サービスの充実等の施策を展開している —

問 高齢者の介護費抑制のために行っている取組は。

答 健康づくりや社会参加、介護予防サービスの充実等、様々な施策を展開している。新たな取組として、国立長寿医療研究センターと健康増進に関する協定を締結し、健康状態などの条件を満たした65歳以上の方を対象に運動コース、健康講座コース

鈴木 浩一 議員

(主な答弁者：・・次世代育成部長)

土曜日の児童クラブの拠点開設への変更に関する理解活動!!

— 拠点化する理由やメリットなどを丁寧に説明し、理解を得る —

問 児童クラブの祝日開設に伴う土曜日の拠点化については

保護者に理解を得る必要がある。判断した理由も含め、今後どのように理解を得るのか。

答 現状、土曜日は利用希望が少ないこともあり、各クラブの平均利用数は4人となっている。このため児童同士の関わりが少なく、健全育成の面で

佐原 充恭 議員

(主な答弁者：・・市長)

2050年カーボンニュートラル(CN)の達成を!!

— 様々な最新技術を取り入れ、カーボンニュートラルを目指す —

問 CN達成の取組は、本市の特性である「モビリティ(交通手段や移動手段に関するモノ・コト全般)」を中心とし

たまちづくりを進めるとともに、温室効果ガスの削減目標を達成し、地域の魅力向上につなげていく必要がある。市はCNをどのように進めていくのか。市長の見解をお聞きしたい。

葛原 祐季 議員

(主な答弁者：・・建設部長)

危険なブロック塀は優先度の高いものから対応を!!

— 地域の方と情報共有をしながら総合的なローラー作戦を進める —

問 ブロック塀の点検業務の経過は。また、点検ではどのようなことが分かったか。

答 平成30年度中にブロック塀が存在する場所を調査し、市内に約5,800件あると判明した。その後、約5,300件の点検を終え、国の示すチェック項目に照らして、安全性が確認できなかったものが95%ある結果となった。

問 ブロック塀に対する安全対策の優先度について考え方は。

答 通学路や避難道路にある損傷の激しいブロック塀は早急に対応する必要がある。ブロック

谷口 睦生 議員

(主な答弁者：・・産業環境部長)

食品ロス削減に向けて、より一層の取組を!!

— 一般廃棄物処理基本計画改定に合わせ、削減計画を策定する —

問 刈谷市における食品ロス削減の計画や取組は。

答 愛知県では、今年度策定した愛知県廃棄物処理計画の中に、愛知県食品ロス削減推進計画を位置づけている。本市においても刈谷市一般廃棄物処理基本計画が令和5年度で計画期間の満了を迎えるため、基本計画の改定に合わせて、その中に食

城内 志津 議員

(主な答弁者：・・産業環境部長)

有機農業を推進し、学校給食をオーガニックに!!

— 本市の農業経営に適用できるものがあるれば普及し、支援したい —

問 有機農産物を学校給食で使用することは有機農業を推進することにもなるが、見解は。

答 今後開発されるであろう技術のうち、本市の農業経営に適したものがあるれば、普及できるよう支援していく。

問 本市の有機農業の取組戸数及び作付面積は。

答 令和2年調査時の取組状況は4戸、95アールである。

問 近隣農家や取扱店に協力を得るなど、少しずつでも有機農産物を学校給食に使用していく考えはあるか。

答 安定供給、価格、調理作業

星野 雅春 議員

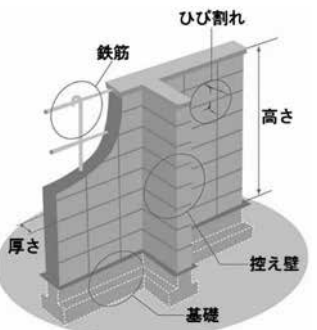
(主な答弁者：・・福祉健康部長)

コロナ対策を徹底し、施設入所者等と家族の面会を可能に!!

— 各事業所も面会の重要性を理解していると考えている —

問 介護施設等での面会禁止措置状況を把握しているか。また、国などから指示があるのか。

答 一律の禁止はなく、市内5つの特別養護老人ホームでは、昨年12月頃は4つが対面、1つはオンラインでの面会を実施していたが、現在は感染状況を踏まえ全施設で対面での面会を中止していると聞いている。交流



御自宅のブロック塀の安全確認をお忘れなく



子供たちにとって安全でおいしい給食を

業の負担発生など様々な課題があるが、地元生産者と情報交換を行うっており、その効果や影響について研究をしていく。

が入所者の心身の健康に影響を与えることが指摘されており、国は2回目のワクチン接種状況を踏まえ、昨年11月に高齢者施設の入所者と家族らの対面での面会の再開を検討するよう施設側に求める通知を发出了。問 面会再開への支援策は。答 家族面会室の整備に係る国の支援制度がある。

上田 昌哉 議員
エビデンスに基づき、刈谷城建設の中止を!!
 — 今後も市民公園づくり会議の中で意見を伺いながら取り組む —

問 刈谷城建設に当たっては、市民アンケートやパブリックコメントをする必要があるのでは。
答 亀城公園については魅力あふれる公園づくり構想の策定過程において、出張アンケートやパブリックコメントを実施し、幅広く意見を伺っていききたい。

問 刈谷市の歴史的建造物といえばI.E.E.Eマイルストーン
山本 シモ子 議員
地方消費税交付金を財源に、困っている人への支援を!!
 — 新たに個別の事業を実施するための財源という認識はない —

問 市税等の滞納状況は。
答 国民健康保険税を含む滞納者数は5,314人である。
問 消費税が格差と貧困をさらに広げている。地方消費税交付金の40億5千万円を困っている人の支援に充てるべき。
答 地方消費税交付金の約20億2千万円は、社会保障施策に係る経費に充てられている。残り約

問 犯罪被害者の支援は、自治体でどのような支援を受けられるかが重要となるものの、犯罪被害者支援条例の有無によって自治体における支援に格差が生じている。本市は、犯罪被害者に対して支援給付を目的とした条例が制定されていないが、現在、犯罪被害者に対して、どのような支援をしているのか。
答 相談窓口の設置や犯罪被害者給付制度の情報提供などを行っている。

問 令和4年2月愛知県定例議会において、犯罪被害者等支援条例が提出されたが、今後の

白土 美恵子 議員
おくやみ窓口を開設することのメリットは!!
 — 手続時間の短縮と、他の窓口比べ、落ち着いて手続ができる —

問 令和3年9月議会などで質問した「おくやみ窓口」が4年度に新規に開設する。死亡に伴う様々な手続をワンストップでできるこの窓口の概要は。
答 1日3組程度の予約制とし、市内に住民登録されていた方の御遺族を対象とする。令和4年7月に開設を予定し、市役所1階の休日夜間受付において、

牛田 清博 議員
給食で有機農産物を増やすために品質管理の向上を
 — 食の安全はハサップの考えに基づき衛生管理を実施している —

問 「食育」は教育行政方針の家庭・学校・地域の連携の基本になると考えるが、見解は。
答 給食時間での郷土料理、地元食材の紹介や、地域の方との米作りなど、地域とのつながりを意識した取組をしている。
問 急速にデジタル化する教育には「デジタルシテイズンシップ教育」が必要だが見解は。
答 当該教育の推進は国の動向を注視していく。

問 小学校1クラス平均は刈谷市31.5人、全国23.4人である。少人数学級に向けたプロジェクト設置が必要だが見解は。

黒川 智明 議員
将来を見据えた刈谷スマートシテイ構想の取組を!!
 — 企業等の先端技術を活用し、持続可能なまちづくりを進める —

問 刈谷市におけるスマートシテイの考え方は。
答 企業等と協働し、持続可能なまちづくりを進める有効な手段の一つと考える。
問 スマートシテイ構想は第8次総合計画に対し、どのような位置づけで推進するのか。
答 第8次総合計画に沿ったものにする必要があると考える



ICTを正しく扱う能力を高め、幅広い市民活動をする能力も得られる教育を

3月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- 換気を約30分ごとに実施
- 質問質疑の持ち時間を60分から50分に短縮
- 質問質疑の際、密接を避けるため、議場に入る議員の数を減らし、別室でモニター視聴を実施
- 議場等の各席に間仕切り設置

ロシアによるウクライナへの侵攻に関する決議

ロシアは、一方的にウクライナへの軍事侵攻を開始し、首都キエフをはじめ各都市での度重なる戦闘により、子どもを含む一般市民にも多数の死傷者が出ている。
 このようなロシアの行動は、かけがえのない命と財産を奪う人権侵害であるとともに、国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。さらに、核の威力を背景に威嚇をする行為は、断じて容認することができない。
 本市には、世界で活躍する企業も多く、国際情勢の不安定化による影響は計り知れない。
 よって、国際秩序を力により現状変更しようとするロシアに対し、厳重に抗議するとともに、即時に攻撃を止め、ウクライナから無条件かつ完全に撤退することを強く求める。
 以上、決議する。
 令和4年3月7日
 刈谷市議会

議会トピックス

議員研修会を実施
 (3月29日)
【講師】 弁護士 金岡 宏樹 氏
【テーマ】 公職選挙法と議員活動
 SNSやインターネットを活用した議員活動の注意点など

編集後記

かけはし
 ◆新型コロナウイルスはウイルスが変異する度に感染力を増しています。次の波に備え、引き続き感染症対策の徹底に御協力をお願いいたします。
 ◆市は「ゼロカーボンシテイ」を表明しました。脱炭素社会の実現と電力の地産地消を推進し、二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指します。市民・企業の皆様と行政がワンチームで進められるよう市議会もその役割を担ってまいります。
 ◆ロシアの侵攻により、ウクライナでは都市が破壊され人々の生活が奪われました。武力による攻撃はあってはならず、本市議会はこの事態を強く抗議する決議を可決しました。一刻も早く平和と日常生活を取り戻すことができるよう心からお祈りいたします。
 ◆今年度は第8次総合計画や行政のデジタル化など、皆様の生活がさらに快適になるよう様々な検討をします。皆様と行政の「かけはし」を担う市議会を今後もよりよくお願いいたします。
 (議会広報委員会)



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョっちゃん」(警察庁)